

第 1 回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成28年 9 月30日（金）午前 9 時30分から午前11時30分まで
開催場所	栄区役所本館 4 階 2 号会議室
出席者	片岡、星野、輿石、岡、森、本田、白水、藤森、細川（代理）（敬称略） 事務局：林、古橋、服部
議 題	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 事務局からの報告 (2) K Y T（危険予知トレーニング）講習会の体験 3 意見交換 4 その他、情報共有
議 事	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 事務局からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月 13 日サーベイランス分科会資料を参考に取り組の説明を行った。 ・ 27 年度に乳幼児健診受診対象者の養育者向けに実施した「事故予防に関するアンケート調査」の集計結果について資料をもとに説明した。 （主な内容） 予防対策を知っているが、実際に対策を行っている人の割合が乖離している項目について、より重点的な啓発を行う必要性がある。予防対策への意識を広めていくことで、事故の減少を目指したい。 (2) K Y T 講習会の体験 分科会として、各委員の活動内容をお互い共有することにより、地域(団体)の取組がセーフコミュニティにつながっていることを認識することを目的として実施した。 （内容） 片岡委員の紹介により、栄区子ども会連絡協議会から講師を招いた。講義、グループ討議、発表、講評の形式で実施した。 3 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ どの活動においても安全管理への取組は重要であり、K Y T の発想を参考にしたい。 ・ 子どもたちが自分の身を守るためにも、危険を学ぶことは大事である。 ・ K Y T の取組がセーフコミュニティにつながっていることを、区民にも意識づけする必要がある。 4 その他、情報共有 次回の開催時期について、取組指標の見直しについて
資 料	1 委員名簿 2 傷害サーベイランス分科会資料（抜粋） 3 子どもの事故予防に関するアンケート集計結果 4 K Y T 講習会資料

第2回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	平成28年12月6日（火）午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	栄区役所本館3階5号会議室
出席者	片岡、星野、岡田、輿石、森、本田、白水（敬称略） 事務局：林、古橋、服部
議 題	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 「こども110番の家」の活動について (2) 学校アンケート集計結果について (3) 意見交換 (4) 事務局からの報告 3 その他、情報共有
議 事	1 あいさつ 2 議事及び報告 (1) 「こども110番の家」の活動について 前回に引き続き、分科会内で各委員の活動内容を共有することを目的に活動紹介を実施した。 (内容) 輿石委員より、栄区PTA連絡協議会が実施している当事業について説明をいただいた。 ・犯罪防止（抑止力）として、地域の安全のために役立っている。 ・地域の高齢化や子どもへの認知度など課題もある。 (2) 学校アンケート集計結果について 平成23年度、26年度に実施した学校アンケート調査（地域の安全等に関する意識調査）の結果について、傾向や現状を説明した。 ・怖い人にあった経験の有無及びその時の行動 ・地域とのつながりに関する意識 (3) 意見交換 ・あいさつ運動を地道に続けることは、子どもと大人がお互いに顔を知る関係につながるため、繰り返していくことが重要である。 ・保護者の意識も見直すところがある。地域で見守り活動や防犯パトロールを行っている方々への感謝の気持ちを子どもたちに伝える。 ・保育園や幼稚園でも、下校中の子どもたちが気軽に立ち寄れるような雰囲気づくり、声掛けを積極的にしていくのもよい。 (4) 事務局からの報告 栄区セーフコミュニティアンケート実施について、28年度学校アンケート調査の実施予定について 3 その他、情報共有
資 料	1 委員名簿 2 「こども110番の家」事業に関する資料 3 学校アンケート集計結果（平成23年度、平成26年度） 4 その他参考資料

栄区セーフコミュニティ推進協議会 スポーツ・余暇安全対策分科会 次第

議事録

日時 平成28年6月20日(月)午後7時から

会場 栄区役所本館4階 2号会議室

【出席者(敬称略)】丸山、清水、白川、石山、厚浦、片岡、西村、堀川

(事務局)早乙女、荒井、羽鳥

【欠席者(敬称略)】高城、山上、磯川、末村

- 議事に入る前に、早乙女課長より、これから控えている事前審査と本審査に向けて、今年度の取り組みについて、より内容を充実・発展させて取り組んでいきたい旨の挨拶があった。また、6月18日の渡辺康幸氏の講演・ランニング教室でもケガをしないトレーニングについて話があったとの報告があった。

1 座長の選出について

【資料P1～2】

- 互選による選出の結果、栄区体育協会会長の丸山隆氏が選任された。
- 丸山座長より、スポーツ・余暇安全対策分科会の取り組みは委員の協力なしでは進める事ができない、今年度も引き続き各委員・各団体の協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

2 報告

【資料P3～57】

各構成団体の平成27年度事業報告及び平成28年度事業計画について

(1) 栄区体育協会	(P3～14)
(2) 栄区スポーツ推進委員連絡協議会	(P15～16)
(3) 栄区青少年指導員協議会	(P17～23)
(4) 栄区さわやかスポーツくらぶ普及委員会	(P24～28)
(5) 特定非営利活動法人さかえスポーツくらぶ	(P29～38)
(6) 区役所	(P39～54)
(7) その他	(P55～57)

- 各団体より、資料に沿って次のような報告があった。

(栄区体育協会)

- ・ 栄区民ロードレースでは1500人を超える参加があり、大変活気があった。前年度から続けて上位に入っている選手もおり、トレーニングを重ね大会を待ち遠しく待っているのだろうと思うような参加者もいると感じた。
- ・ 27年度、19の専門部がそれぞれ大会や教室を開催した。28年度は休会していた体操協会が復帰し、20専門部で活動をスタートさせた。

- ・ 今年新たな取組として 30 周年記念の「栄・泉ウォーキング」を 10 月 23 日に開催する。栄区と泉区からそれぞれ出発をし、途中地点の東俣野中央公園で落ち合い、フォークダンスを踊ったりして親交を深める。泉区からの後援も受けており、併せて 400 人規模を予想している。けがなく安全に行っていきたい。
- ・ 例年開催している「てくてくウォーク栄」も 12 月 4 日に開催予定。昨年コースに入っていなかった瀬上の森に行くことを検討している。

(栄区スポーツ推進委員連絡協議会)

- ・ 大きいイベントだと、トライアスロン、ロードレース大会、横浜マラソン、中学校対校駅伝、100 人規模で行う全員研修会があった。
- ・ 27 年度と同様の事業を計画しているが、28 年度は開催時期の見直しにより横浜マラソンは開催されない見通し。
 - 横浜マラソンにはどれくらいの人数が協力していたのか。
 - 20 人くらい

(栄区青少年指導員協議会) 委員欠席のため、事務局より報告

- ・ 27 年度の大きなイベントとしては、栄区全域を対象に行った栄区こどもキャンプと SAKAE ヤングフェスティバルがあった。特にキャンプでは事前に行った全員研修会でアウトドアのけが予防を学び、キャンプ中のけが防止に努めた。
- ・ 28 年度は委嘱の年で改選があったため、6 月 26 日に行われる全員研修会では青少年指導員の役割や全体の流れを含め研修を行う。
- ・ 各地区単位でも、地域の祭や運動会の運営に広く携わって活動をしている。

(栄区さわやかスポーツ普及委員会)

- ・ 27 年度の活動は総勢 9740 人ものが携わった。
- ・ 28 年度も例年通り地区活動や区全体の事業に参加をしていく。
- ・ 日程の一部変更・修正あり :
 - グラウンドゴルフ交流大会 9 月 25 日(日)
 - 栄区民スポーツフェスティバル 10 月 30 日(日)
 - バウンスポール講習会 7 月 3 日(日)

(NPO 法人さかえスポーツくらぶ) 委員欠席のため、事務局より報告

- ・ 27 年度も例年通り定期プログラムと単発で行う特別教室を実施した。また、10 月からは新たに「親子ヨガ」を追加で実施した。
- ・ 地域のスポーツイベントにも積極的に参加している。また、健康づくり事業として、スポーツセンターを会場に体力測定を継続的に実施した。一人ひとりの結果に対しコメントをし、健康促進に役立ててもらっている。
- ・ スポーツ・余暇安全対策分科会での取組を踏まえ、救命救急講習を行った。
- ・ 28 年度も 27 年度同様のプログラムを予定している。

【委員より補足】

- ・ カヤックの教室については、まず初心者が「カヤック体験教室」に参加し、学校のプールでどうすれば安全に乗れるかを習得する。その参加者を対象に「カヤック上達教室」をプールセンターで行い、次の年に「カヤック体験ツアー」で宮ヶ瀬湖に行くという流れになっている。

(区役所)

- ・ ウォーキング月間で行ったキックオフイベントとウォークラリーについて、それぞれアン

ケートにて、キックオフの満足度が73%、ポジティブな意味で「意識の変化があった」と答えた割合が71%だった。ウォークラリーではほぼ90%の人が満足と回答した。

- ・ さかえっ子体操も、引き続き区内小学校や行事にて普及啓発を行った。

(その他)

- ・ てくてくウォークについて、27年度は栄区の市民の森5つのうち4つを周るコースで実施し、天気も良く、けが人もほとんどなく終える事ができた。今年も子どもからご高齢の方の参加を募り、幅広い年齢層の人が楽しめるイベントにしたい。
 - ・ スポーツ・余暇安全対策分科会だよりについては2月に発行した。28年度も同様の時期に発行する予定。
- 各団体からの報告をうけて質問・意見
- ・ 各団体報告・計画の中でスポーツイベントを挙げているが、本郷中央のミニリンピックなど、大きな地域行事が抜けてしまっている。地域が主催しているため、各団体の報告には載ってこないのかもしれないが、規模が大きなイベントであり、各団体も関係しているイベントであることから、地域行事についても載せた方が良い。
→ 各団体がどこまで載せるか、という判断になるが、このような意見を踏まえ、今後作成する際には地域主催のイベントにも留意をして作成する(複数の団体で重複して挙がっていても良いので)。

3 議題

(1) 平成28年度第1回セーフコミュニティ推進協議会及び平成28年度活動計画について (別添資料)

- 資料にそって、事務局より次のような説明があった。
- ・ 29年度の事前審査、30年度の本審査・再認証を目指し取り組んでいく。今年度は25年以降の取り組みが問われる年となり、取組の効果を示すためにも今年度の取り組みが重要である。
 - ・ 一つ目の「準備運動についての啓発・指導」については、今年度も各団体でもけが予防講習会やイベント時には準備運動をしてから始めるなど徹底し行っていただきたい。
 - ・ 運動不足の解消については、週1回以上のスポーツ実践者を指標にしているが、26年度26.5%だった割合が27年度は21.5%と下がってしまった。各団体においてもスポーツに触れる機会を増やしたり、周知を進めていただき、継続してスポーツを行いたいと思うようなアプローチを進めていきたい。
 - ・ 安全なウォーキングの推進については、11～12月の栄区ウォーキング月間や横浜ウォーキングポイントの対象年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、この機会に更に力を入れて取り組みたい。
- 説明を受けて質問・意見
- ・ 週1回以上のスポーツ実践者の割合が下がったとのことだが、アンケートの対象者は誰か、対象人数は何人か。
→ 区民アンケートと区民意識調査の結果を元としている。対象は無作為に抽出した栄区民で、26年度は1500人、27年度は3000人を対象に行った。(事務局)
 - ・ この分科会ではここ2～3年、ウォーキングについて取り組んでいる。安全なウォーキ

ングを推進しているが、必ず数値で現れないところがある。分科会の全体研修会も団体の研修会も、工夫されて実施されており、いくつか成果は出て来ているはずである。そのような中身の内容や過程を効果的に入れられると良い。

→ 先日セーフコミュニティの機関の担当者も来庁し打合せがあったが、取組をどのように表現することができるか、ということが大切であると話をしていた。地域の主体的な取組を上手く推しながら表現できると良いのではないかと。(事務局)

- ・ ウォーキングについて言えば、正しいウォーキング方法等はいろいろなところで話されている。お喋りしながら歩かない(つまづくから)、とかイヤフォンしたままだと危ない、というようなことも併せて知らせていけると良いのでは。
- ・ 今の数値の取り方がベストなのか、という懸念は多分に含んでいると思う。他の分科会についてもそのような声は出ているが、より効果を表すことができるような組み立てを検討する必要があると考えている。その際にはまた皆様にアンケートの協力をお願いすることもあるかもしれないが、ぜひご協力をお願いしたい。(事務局)
- ・ データの取り方や使い方は難しいが、取組と効果の組み立てを意識して検討していくことが必要。

(2) 分科会研修会について

(P58)

➤ 資料に沿って事務局より案の提案があった。

- ・ 今年はウォーキング月間中に、安全なウォーキングという内容で行いたい。
- ・ 駒崎理事の研修スタイルとしては実践がメインで直接の指導がある。広く区民にも参加をしてもらいたい。
- ・ 広く区民に参加を呼びかけた際、高齢者層の参加が多いのではという想定をし、平日の日中を提案している。昨年までは分科会の構成団体のみを対象に行っていたということもあり、平日の夜に行っていたが、日中では委員や構成団体員の参加が難しいか、意見をいただきたい。

➤ 提案に対しての質問・意見

- ・ どの層を狙うかにもよるが、平日の日中はサラリーマンには酷である。働いている人はまず出られない。
- ・ ウォーキングを日常的にやっている人やグループに入っている人は朝から 14 時頃にかけて歩いている人が多い。14 時スタートはちょうど間に合わないかもしれない。
- ・ 土日の開催はどうか。
→ 週末は各団体の大会やスポーツイベント等もあることから、難しいのではと判断し平日を提案した。(事務局)
- ・ スポーツセンターを会場にするのであれば、平日よりも休日の方が可能性があるかもしれない(平日は教室が定期的に行われているから)。
- ・ 駒崎理事との打ち合わせの際、最低でも2時間は必要ということだったので、2時間は確保したい。平日の夜 19 時頃からのスタートとなると終わりが遅くなってしまいうので、広く区民に呼びかける際に懸念がある。平日の日中が難しいという意見が多いようであれば、駒崎理事の予定と会場の空き状況を確認したうえで日程を再検討させてもらえないか。複数確保できれば分科会委員の希望を聞いて決めることができるが、1日しか確保できなかった場合はその日程で開催させていただきたい。(事務局)

- 意見を受け、期間を10～11月に広げたいうえで土曜日の日中に開催することとし改めて調整を行う。

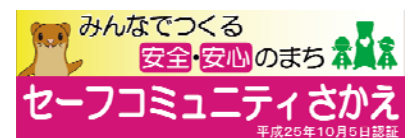
4 次回分科会日程について

候補日：平成28年10月18日（火）または平成28年10月20日（木）
19時から 栄区役所本館4階2号会議室にて

- 平成28年10月20日(木)に決定

5 別添

平成28年度第1回セーフコミュニティ推進協議会資料



栄区セーフコミュニティ推進協議会

平成28年度 第2回 スポーツ・余暇安全対策分科会 議事録

日時：平成28年10月20日（木）午後7時～

会場：栄区役所本館4階 2号会議室

出席者（敬称略）：丸山、清水、白川、石山、厚浦、高城、片岡、西村、磯川、
末村、堀川

事務局：荒井、山口

1 あいさつ

（座長の丸山会長から）10月2日に行われた研修会は有意義だった。29年の事前審査、30年の本審査に向けて、引き続きご協力をお願いします。

2 議題

(1) 平成28年度上半期の振り返り及び下半期予定について

栄区体育協会

…P. 1～5

白川さん、清水さんより、報告があった。上半期で、全体のおよそ55%のイベントが行われた。下半期の主な予定としては、10月23日の栄区・泉区制30周年記念ウォーキング大会、10月30日のスポーツフェスティバル、12月4日のてくてくウォーク栄がある。

栄区スポーツ推進委員連絡協議会

…P. 6

石山さんより報告があった。上半期は、5月14日の世界トライアスロンシリーズ横浜大会への協力、6月26日の全員研修会でのニュースポーツ体験、9月25日の横浜シーサイドトライアスロン大会への協力があった。下半期の主な予定としては、1月7日のロードレース大会、3月19日の中学校対抗駅伝大会がある。

栄区青少年指導員協議会

…P. 7～12

高城さんより報告があった。上半期は、7月のパトロール活動、社会環境健全化実態調査が行われた。地区行事では、ケガ等の報告は無かった。下半期の主な予定としては、3月19日のヤングフェスティバルがある。

栄区さわやかスポーツ普及委員会

…P. 13

片岡さんより報告があった。上半期は、さわやかスポーツの体験会、9月25日のグラウンドゴルフ交流会が行われた。下半期の主な予定としては、10月9日に行われたスポーツレクリエーションフェスティバルの他、10月30日のスポーツフェスティバルがある。

特定非営利活動法人さかえスポーツくらぶ …P. 14～17

磯川さんより報告があった。上半期は、各種教室の他、健康体力測定が2回行われた。下半期の主な予定としては、ジュニアスポーツ教室など、引き続

き各種教室がある。

区役所

…P. 18～26

事務局より報告があった。10月2日に行われた研修会「実践！効果を感じるウォーキング」について、一般を含む73名が参加し、好評のうちに終了した。アンケート結果から、8割の方がウォーキングを始めたいと思い、9割以上の方がウォーキングにより健康になったと答えた。また、下半期の主な予定としては、ロードレース大会と中学校対抗駅伝大会がある。

(2) 傷害サーベイランス分科会について …P. 27～42

- ・ 栄区傷害サーベイランス分科会の評価・助言への対応について …P. 28-29
9月13日に行われた第1回傷害サーベイランス分科会について、事務局から報告があった。委員からの評価・助言事項に対し、対応策を提示した。

(質問・指摘)

- ・ アンケート回答者のうち20代未満の運動不足によるけがの件数
⇒当アンケートを再度集計し、年代ごとのけがの原因の内訳を示す。
- ・ ウォーキングの取組でのステップ3の評価について、運動競技中の事故における救急搬送データの使用
⇒直接的な指標としてはあまり良くない。また、医者にかからないような怪我也多く、データに残っていない部分も大きいのが現状。今後、よりよい指標について検討する必要がある。

(3) スポーツ・余暇安全対策分科会だよりの発行(2月) …P. 43～44(昨年度)

- ・ 表面(案)：分科会研修会「ウォーキング講座」、各団体の取り組み(研修会等)
- ・ 裏面(案)：ウォーキング関連

分科会だよりについて事務局から提案があった。今年度の分科会だよりは、上記の内容で作成することになった。また、ウォーキングについては、研修会で講師となったウォーキング研究所の駒崎氏に協力を依頼することになった。また、ウォーキング時のマナーなどについても追加していくことになった。

3 次回分科会日程について

日時：平成29年2月23日(木)午後7時～

場所：栄区役所本館4階2号会議室



平成 28 年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会
『スポーツ・余暇安全対策分科会』 委員名簿

役職	氏 名	選 出 母 体
座長	丸 山 隆	栄区体育協会
	清 水 正 美	栄区体育協会
	白 川 正 信	栄区体育協会
	石 山 正 彦	栄区スポーツ推進委員連絡協議会
	厚 浦 裕	栄区スポーツ推進委員連絡協議会
	高 城 裕 之	栄区青少年指導員協議会
	山 上 東 平	栄区青少年指導員協議会
	片 岡 久	栄区さわやかスポーツ普及委員会
	西 村 一 雄	栄区さわやかスポーツ普及委員会
	磯 川 正 教	特定非営利活動法人さかえスポーツくらぶ
	末 村 高 志	特定非営利活動法人さかえスポーツくらぶ
	堀 川 裕 美	横浜市体育協会地域スポーツ支援課

<事務局>

栄区地域振興課長 早乙女 誠一郎
 栄区地域振興課生涯学習支援係長 荒井 泰広
 栄区地域振興課生涯学習支援担当 山口 修平

栄区セーフコミュニティ推進協議会

平成 28 年度 第 3 回 スポーツ・余暇安全対策分科会 議事録

日時：平成 29 年 2 月 23 日（木）午後 7 時～

会場：栄区役所本館 4 階 2 号会議室

出席者（敬称略）：丸山、清水、白川、石山、厚浦、高城、山上、西村、磯川

事務局：早乙女、荒井、山口

1 あいさつ

スポーツ・余暇安全対策分科会 座長 丸山 隆

2月2日に傷害サーベイランス分科会が開催され、座長として資料の説明をしました。来年度には事前指導、そして再来年度の再認証といったスケジュールを踏まえ、皆様のご協力をお願いします。

2 議題

(1) 傷害サーベイランス分科会（2月2日開催）について・・・P 3～18

事務局から資料の説明があった。

分科会委員からの意見・質問

・スライド4、突発的なものというのはどういう状況か

⇒例えば、突然飛んできたボールで負傷などで、他の項目に当てはまらないものを指す。もう少しわかりやすいような（今後の英訳を見据えた）表現に変更予定

・スライド4、データは2011年のもので、その後の変化を見る予定はあるか

⇒JISCの白石理事やサーベイランス分科会委員からも同様の意見をいただいております、今後アンケートの実施を検討していく。

(2) ウォーキングに関するアンケート結果について・・・P19

事務局から説明があった。アンケートは、ウォーキングイベントに参加した方を対象としているため、普段からウォーキングをしている人が多い結果になったと考えられる。

分科会委員からの意見

・問4のウォーキングをすることで健康になったと思えますか、という設問について、「健康」の意味は人によって違う。動きやすくなった、つまづきににくくなったなど、具体的な効果を聞く等、アンケートの設問を工夫した方が良い。

(3) スポーツ・余暇安全対策分科会だよりについて・・・別紙

今回は、ウォーキングチラシとして作成しています。（3月配布予定）

事務局から説明があった。今年度のスポーツ・余暇安全対策分科会だよりとして、ウォーキングに特化したチラシを作成する。対象は、これからウォーキングを始める初心者。3月に分科会委員に配布するように作成中。

分科会委員からの意見

- ・「スポーツ・余暇安全対策分科会だより」という文言を入れた方がいい。
- ・てくてくウォークの紹介内の写真のキャプションについて、栄区役所から本郷台駅前という書き方だと、短い距離に見えてしまう。

(4) 来年度以降の予定について・・・・・・・・・・・・・・・・ P20

事務局から説明があった。平成 29 年度 9 月の事前指導。平成 30 年度の再認証に向けて引き続き皆様のご協力をお願いします。また、事前指導に向けて、平成 29 年度 5 月までに、英訳に伴う資料提出のため、内容を固める必要がある。大筋は先日のサーベイランス分科会時の資料とし、指摘のあった書きぶり等を修正していく予定。

(5) その他

事務局から、「スポーツ・余暇安全対策分科会」の名称変更についての提案があった。現在は、スポーツ時の事故・けが予防に取り組んでいるが、分科会名称に「余暇」という文言が入ることによって、本旨から外れた議論が起こることを懸念し、「余暇」の文言を削除することを提案した。JISC の白石理事からは、「名称に関して厳格な決まりがあるわけではなく、現在の分科会の取組に沿った名称に変更することは可能」、区の SC 事務局からも、「分科会の了承を得られれば変更することは可能」、とそれぞれ回答を得ている。

- ・分科会委員から

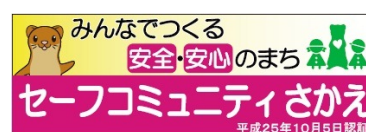
分科会結成時、「余暇活動」については、青少年指導員が行う子どものキャンプ活動などが対象になっていたという経緯がある。その後、取組の内容をスポーツ活動時のけがに特化させ、現在に至る。

⇒分科会名称の変更が了承された。今後、名称の変更に関しては事務局で進め、動きがあれば各分科会委員に連絡する。

3 来年度の分科会日程について

候補日：第 1 回 平成 29 年 6 月 22 日（木）
第 2 回 10 月 26 日（木）
第 3 回 平成 30 年 2 月 22 日（木）
午後 7 時～ 区役所会議室

上記日程で了承された。



平成 28 年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会
『スポーツ・余暇安全対策分科会』 委員名簿

役職	氏 名	選 出 母 体
座長	丸 山 隆	栄区体育協会
	清 水 正 美	栄区体育協会
	白 川 正 信	栄区体育協会
	石 山 正 彦	栄区スポーツ推進委員連絡協議会
	厚 浦 裕	栄区スポーツ推進委員連絡協議会
	高 城 裕 之	栄区青少年指導員協議会
	山 上 東 平	栄区青少年指導員協議会
	片 岡 久	栄区さわやかスポーツ普及委員会
	西 村 一 雄	栄区さわやかスポーツ普及委員会
	磯 川 正 教	特定非営利活動法人さかえスポーツくらぶ
	末 村 高 志	特定非営利活動法人さかえスポーツくらぶ
	堀 川 裕 美	横浜市体育協会地域スポーツ支援課

<事務局>

栄区地域振興課長 早乙女 誠一郎
 栄区地域振興課生涯学習支援係長 荒井 泰広
 栄区地域振興課生涯学習支援担当 山口 修平

平成28年度 第1回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成28年4月21日(木) 午前10時35分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	森、加藤、関、山田、中込、田中、吉泉、平間、堀田、長谷川、三輪(敬称略) 事務局：早乙女、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> 本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成28年3月16日(水) 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 交通安全 三世代 交流大会(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成28年3月29日(火) 午後2時から午後4時 栄区役所新館4階8・9号会議室 春の交通安全フェスティバル(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年4月9日(土) 午前10時から正午 長沼スポーツ広場 「交通事故死ゼロを目指す日」啓発キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年4月9日(土) 午後2時から午後3時 環状4号線公田交差点 <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車マナーアップ強化月間キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年5月10日(火) 午前10時から午前11時 地球市民プラザ前交差点 二輪車交通事故防止強化月間・暴走族追放強化月間キャンペーン (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年6月3日(金) 午前10時から午前11時 本郷台駅前広場 本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成28年6月、9月、11月、3月の各月1回実施 本郷台駅周辺放置禁止区域内 夏の交通事故防止キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年7月13日(水) 午後4時～午後5時 大船駅笠間口 「はたらくるまだいしゅうごう」への協力(主催：栄安全運転管理者会) 平成28年7月18日(月・祝) 午前10時から正午 本郷台駅前広場 <p>3 平成27年度スクールゾーン対策協議会の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、平成27年度の各校スクールゾーン対策協議会と行政の協議事項についての概要報告があった。 121件の協議件数のうち62件が対応済みであり、この他平成28年度中に対応予定のものや地域において協議中の案件もあるなど説明があった。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄警察署より、平成28年4月21日現在、高齢者の交通事故に占める件数の構成比率が44%、また、高齢者の免許保有率も23%とそれぞれ高いとの説明があった。 高齢者向けの啓発活動等について、免許の返納制度や旗振り講習会への参加、ケアマネージャーなどを通じた啓発活動などを引き続き実施し、各団体においても対応を検討してほしい旨了解を得た。

資 料	<ol style="list-style-type: none">1 報告案件及び議事案件の概要2 「平成 28 年度春の全国交通安全運動・春の交通安全フェスティバル」実施結果3 交通安全三世代交流大会、春の交通安全フェスティバル、 「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン記録写真（抜粋）4 平成 28 年 3 月末の栄警察署管内交通事故発生状況（概数）5 平成 27 年度スクールゾーン対策協議会要望件数一覧
-----	---

平成28年度 第2回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成28年9月7日(水) 午前10時35分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	関、小野、佐々木、田中、竹谷、吉泉、平間、駒田、佐藤、三輪(敬称略) 事務局：早乙女、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車マナーアップ強化月間キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年5月10日(火) 午前10時から午前11時 地球市民プラザ前 ・ 二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間キャンペーン (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年6月3日(金) 午前10時から午前11時 本郷台駅前広場 ・ 本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成28年6月13日(月) 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・ 夏の交通事故防止キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年7月13日(水) 午後4時から午後5時 大船駅笠間口 ・ はたらくくるまだいしゅうごう(主催：栄安全運転管理者会) 平成28年7月18日(月・祝日) 午前9時30分から午前11時30分 本郷台駅前広場 <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全十五夜キャンペーン(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成28年9月15日(木) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 ・ 秋の交通安全フェスティバル(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年9月28日(水) 午前10時から午前11時45分 栄公会堂 ・ 「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年9月30日(金) 午前10時から午前11時 環状4号線笠間交差点 ・ 違法駐車及び放置自転車・バイククリーンキャンペーン (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年10月13日(木) 午後2時から午後3時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 大船駅笠間口周辺放置禁止区域内 <p>3 平成28年度スクールゾーン対策協議会の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、平成28年度の各校スクールゾーン対策協議会と行政の協議事項についての概要報告があった。 ・ 143件の協議件数があり、今後対応可能な案件については、来年3月までの間に改善等を行うなど説明があった。 <p>4 平成28年度第1回栄区傷害サーベイランス分科会の資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より9月13日(火)に開催される分科会の資料について説明があり、スクールゾーン対策ではモデル地点を設定し、路面標示改善前後の効果検証を行うなどの取組が報告された。

	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、栄区は全交通事故の発生件数に占める高齢者が関係する事故の割合（構成率）が、県内平均より 10 ポイント以上高い（41%）ため、9月1日付けで「高齢者交通事故多発地域」に指定された旨説明があった。 ・ 当分科会においても、今後の重要課題として対策を検討していく旨確認した。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告案件及び議事案件の概要 2 自転車マナーアップ強化月間、二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間、夏の交通事故防止キャンペーン、はたらくくるまだいしゅうごう記録写真（抜粋） 3 平成28年度スクールゾーン対策協議会要望件数一覧 4 平成28年度第1回栄区傷害サーベイランス分科会 交通安全対策分科会資料

平成28年度 第3回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成28年11月15日(火) 午前10時30分から
開催場所	栄区役所新館4階7号会議室
出席者	森、山田(正)、山田(龍)、小野、佐々木、田中、竹谷、吉泉、堀田、長谷川、三輪(敬称略) 事務局：早乙女、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全十五夜キャンペーン(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成28年9月15日(木) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 ・ 本郷台駅自転車等放置防止クリーンキャンペーン (主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成28年9月26日(月) 午前6時30分から午後9時 本郷台駅周辺自転車等放置禁止区域内 ・ 秋の交通安全フェスティバル(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年9月28日(水) 午前10時から午前11時45分 栄公会堂 ・ 「交通事故死ゼロを目指す日」街頭キャンペーン(主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年9月30日(金) 午前10時から午前11時 環状4号線笠間交差点 ・ 違法駐車・放置自転車・バイククリーンキャンペーン (主催：栄区交通安全対策協議会・自転車等放置防止推進協議会) 平成28年10月13日(木) 午後2時から午後3時 本郷台駅周辺自転車等放置禁止区域及び大船駅周辺自転車等放置禁止区域 <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年末の交通事故防止(飲酒運転根絶強化月間)街頭キャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年12月16日(金) 午後3時から午後4時30分 本郷台駅前広場 ・ 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成29年4月8日(土) 午前10時から正午 笠間三丁目公園 ・ 交通安全クリスマスキャンペーンについて(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成28年12月14日(水) 午後3時から 本郷台駅前広場 ・ 飲酒運転大根絶キャンペーン(主催：栄交通安全協会) 平成28年12月16日(金) 午後1時から ・ 新年交通ミニ凧キャンペーン(主催：栄交通安全協会) 平成29年1月6日(金) 午前9時から ・ 交通安全節分キャンペーン(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成29年2月3日(金) 午後3時から <p>3 栄区内の死亡事故発生について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄警察署より、9月22日深夜に環状4号線笠間大橋で発生した事故の概要について説

	<p>明があった。</p> <p>4 子どもの交通事故防止活動の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、10月28日朝港南区の路上にて発生した死亡事故について紹介があり、子どもが被害にあうなどの悲惨な交通事故抑止のため、改めて協力いただくよう依頼があった。 ・ 栄警察署より、栄区の高齢者の免許保有率は23%であり、市内で1番高いとの報告があった。あわせて、運転経歴証明書の案内と高齢者運転免許自主返納サポート協議会の紹介があり、協賛企業・団体等があれば紹介してほしい旨依頼があった。 <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄警察署より、改正道路交通法が平成29年3月12日に施行され、高齢運転者対策の推進及び準中型免許が新設される旨説明があった。
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告案件及び議事案件の概要 2 年末の交通事故防止（飲酒運転根絶強化月間）街頭キャンペーンについて 3 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について 4 交通安全クリスマスキャンペーン実施計画書 5 平成28年度交通安全イベント実施結果一覧 6 子どもの交通事故防止活動の推進について（関連新聞記事の抜粋） 7 運転経歴証明書のご案内 8 改正道路交通法が施行されます

平成28年度 第4回 交通安全対策分科会会議録	
日 時	平成29年2月2日(木) 午前10時35分から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	森、山田(正)、関、山田(龍)、佐々木、吉泉、平間、堀田、三輪(敬称略) 事務局：早乙女、吉田、塩島、塚田
議 事	<p>1 報告案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年末の交通事故防止(飲酒運転根絶強化月間)街頭キャンペーン (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成28年12月16日(金) 午後3時から午後4時30分 本郷台駅前広場 ・ 飲酒運転大根絶キャンペーン(主催：栄交通安全協会) 平成28年12月16日(金) 午後1時から午後1時30分 環状4号線区役所入口交差点 ・ 交通安全クリスマスキャンペーン(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成28年12月14日(水) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 <p>2 議事案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「春の全国交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成29年4月8日(土) 午前10時から正午 笠間三丁目公園 ・ 「交通事故死ゼロを目指す日」啓発キャンペーンについて (主催：栄区交通安全対策協議会) 平成29年4月10日(月) 午前10時から午前11時 環状4号線公田交差点 ・ 交通安全節分キャンペーン(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成29年2月3日(金) 午後3時から午後4時 本郷台駅前広場 ・ 本郷台駅自転車等放置防止キャンペーン(主催：本郷台駅自転車等放置防止推進協議会) 平成29年3月下旬 午前6時30分から午前9時 本郷台駅周辺放置禁止区域内 ・ 交通安全三世代交流大会(主催：栄交通安全母の会連絡会) 平成29年3月30日(木) 午後2時から午後4時 栄区役所新館4階8・9号会議室 <p>3 栄区内の死亡事故発生について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄警察署より、事故の概要について説明があった。 <p>4 平成28年栄区内の交通事故発生状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄警察署より、平成28年中の交通事故の発生状況について報告があった。 ・ 事故件数・負傷者は減少しているものの、事故件数における高齢者と二輪車の事故の割合が高く、ともに40%を超えているなどの説明があった。 ・ 栄区における高齢者の運転免許保有率は横浜市の16%より高く、23%であるとの説明があった。 <p>5 平成28年度第2回栄区傷害サーベイランス分科会の資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より本日開催されている分科会の資料について説明があり、交通事故における死傷者数の年齢別構成割合などについて平成23年から改めてデータを取り直したところ、

	<p>栄区では12歳以下及び65歳以上の事故の割合が横浜市全体と比較して高いとの報告があり、改めて小学生以下及び高齢者を対象とした取組の重要性について確認した。</p> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、高齢者の交通事故発生の傾向などについて、新聞記事や公益財団法人交通事故総合分析センターのレポートにより報告があった。 ・ 高齢者の交通事故対策について、今後の重要課題として対策を検討していく旨確認した。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告案件及び議事案件の概要 2 「春の交通安全運動に伴うキャンペーン」の検討について 3 交通安全節分キャンペーン実施計画書 4 交通安全三世代交流大会 5 平成28年12月末の栄警察署管内交通事故発生状況 6 平成28年度第2回栄区傷害サーベイランス分科会 交通安全対策分科会資料 7 平成28年度交通安全イベント実施結果一覧 8 平成29年度神奈川県交通安全対策協議会事業計画 9 改正道路交通法が施行されます 10 平成29年1月17日付神奈川新聞記事（抜粋） 11 イタルダ インフォメーションNo.118・119（抜粋）

平成 28 年度 第 1 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

平成 28 年 5 月 26 日 (木) 9 : 30 ~

会場 新館 2 階 201

1 自己紹介

主任児童委員:宮崎、北野 にこりんく:古川、五十嵐

社協:倉田 こども家庭支援課:角谷係長、湯浅 PHN、佐藤 PHN、杉田 CW

2 前回までの確認

3 H28 年度活動について

① 「さかえっ子の笑顔ひろげ隊」の緑色のチラシの新しいものを 6 月 16 日の
こん赤定例会で主児さん二人に確認してもらい、問題なければ 6 月 20 日の主児委員会
の定例会で配布・説明。

→民生委員の人数分を渡して、それぞれの地区の主児さんに各地区で説明してもらう。

12 月の改選後にもっと大きく周知の場を設けてはどうか。(任期 3 年)

☆ひろげ隊が始まった初年度に子育て講座をやったのでそれもよいのではないか。

・来年度に予算を取って講座開催を検討。(5 月から 6 月あたり)

子育て応援講座として民生委員、子育て支援に関わる方、PTA、まだ支援に関わって
いない方も含めるか、などを対象に考える。

初年度はとくまる先生の講座で民生委員対象にやった。

3 回同じ講座を行い、民生委員には必ず 1 回参加してもらうようにしていた。

② 「あかちゃんふれあい体験」について

5 月 18 日に角谷係長から中学校長会で説明は済み

6 月 9 日に専任会で説明

6 月 20 日主任児童委員会で学校に持っていくチラシを渡す。

主児さんに担当の学区の学校にチラシを持って行ってもらう説明してもらう。

参加会場は、原則はあるが、行けそうな会場や日程を見て、各自で選んでもらってよ
いことにする。

○港南区の日野南中と戸塚区の豊田中は参考程度に主児さんに持って行ってもらう。

③ 地域への PR 活動について

・地域のこども会連絡協議会(スタッフ向けに活動しているところ)

・こども安全対策分科会

・虐待防止連絡会?

→入り込めそうな所にはいらせてもらうか?

活動の評価としてアンケートの実施を検討

④ 今後の活動について

28年度 啓発活動計画(予定)

日時	内容	場所	配布数
6月11日	KYT 研修(スタッフ20人)		
6月27日	児童虐待防止連絡会		
9月3日	ステーション祭り		
9月15日、30日	孫育て講座		
12月10日	ふれあいコンサート		
11月3日	30周年イベント		
11月5日	区民祭り		
	すくすく		
	ぬくもり(桂台CP)		
年4回のうちのどこかで	子育て支援団体連絡会		
3か月に1回あり	ボランティア分科会		
8から9月くらい			

4 その他

アンケート:冒頭部分にアンケートの目的をいれる?チェック項目を入れる?

さかえっこの笑顔広げ隊の紹介については、現在ある資料を修正して使用する。

次回事務局

7月21日(火) 15:30時から

平成 28 年度 第 2 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

開催日：H28 年 7 月 21 日（木）15：00～

出席者：主任児童委員 宮崎、北野 にこりんく 古川 社協 倉田
こども家庭支援課 角谷係長、湯浅 PHN、佐藤 PHN、杉田 W

1 前回までの確認

2 「赤ちゃんふれあい体験」実施にむけて

8 月 17 日笠間地域ケアプラザ：参加者 6 人（西本郷中）

8 月 19 日小菅ヶ谷地域ケアプラザ：参加者 1 人（本中）

※飯島中の参加者は 7 月 22 日に確認する

- ・感謝状を学校経由で渡すことを検討
- ・参加後簡単なアンケート（参加動機や感想）

次回へ向けて…

- ・年間の学校行事（授業）として組み込めないか。
まずは実態を養護教諭等へ確認してみるのもよい。いつまでに行事日程を学校へ伝えるとよいか。

・育児教室へ参加する形の「ふれあい体験」については、今回実施して再検討。

3 地域への PR 活動について

- ・8 月赤ちゃんふれあい体験時
- ・9 月 8 日子育て支援団体連絡会
- ・民児協

配布部数を区へ報告してください。チラシ必要あれば区へ言ってください。

4 アンケートについて→実施する

実施場所・時期

- ① 乳健 10・11 月健診予定者のお知らせに同封（8 月発送）、当日回収
- ② 子育て支援拠点にこりんく

2、次回事務局

9 月 30 日（金） 15：30～

平成 28 年度 第 3 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 記事録

開催日：平成 28 年 9 月 30 日（金）15：30～

出席者：主任児童委員 宮崎、北野 にこりんく 古川、五十嵐 社協 倉田
こども家庭支援課 角谷係長、佐藤 PHN、杉田 W

1 前回までの確認

2 8 月「赤ちゃんふれあい体験」実施報告

(1) 参加状況・アンケート 別紙のとおり。専任会にて報告予定。

(2) 来年度に向けて

- ・予算は区づくり、栄区の事業として実施していく。
- ・中学校の授業の一環として行えないか。まずはモデル的に本年度参加者の多かった西本郷中学校へ依頼していく。他中学校へは今年度同様夏休み中を利用した参加依頼を検討。
- ・より多くの中学生に参加してもらえるような周知方法はないか（社協のサマボラでは飯島中学校の参加者が多い）。

3 活動報告

- ・9 月 3 日ステーション祭り 400 部
- ・子育て支援団体連絡会については、9 月 8 日→12 月 10 日に啓発日変更

4 アンケートについて

- ・2 ヶ月間（12～2 月のうち）、乳健・にこりんくにて実施
- ・子育て以外の悩みは、乳健の問診票に記載欄あり。
- ・アンケートには、家族構成を記載してもらおう欄を追加し、差支えのない範囲で記入してもらおう。

5 今後の活動について

(1) 11 月 5 日 区民祭り

- ・啓発バックセット 500 セット配布する
セットに同封したいものがあれば、10 月末までに区へ連絡。
- ・配布場所調整中。
- ・配布メンバー：5 名（区こ家 2 人、宮崎主任児童委員、にこりんく 2 人）

6 その他

- (1) 11 月（虐待防止月間）の広報にさかえっ子の笑顔ひろげ隊が載る予定。
- (2) 区社協へ食品の寄付をしたい方から寄付先の問い合わせあり。区内で寄付できる場所があれば共有していきたい。

7 次回事務局

11 月 29 日（火）15：30～ 栄区役所内

平成 28 年度 第 4 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊 議事録

開催日：平成 28 年 11 月 29 日 15:30 から(102)

出席者：主任児童委員 宮崎、北野 にこりんく 古川
こども家庭支援課 湯浅 PHN 佐藤 PHN

1 前回事務局打ち合わせの確認(議事録参照)

2 活動報告

28 年度 啓発活動計画(予定)

日時	内容	場所	配布数
6 月 11 日	KYT 研修(スタッフ 20 人)		
6 月 27 日	児童虐待防止連絡会	区役所	39
8 月 17 日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラ	33
8 月 19 日	赤ちゃんふれあい体験(小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラ	21
9 月 3 日	ステーション祭り		
9 月 8 日	第 2 回子育て支援団体連絡会	区役所	なし
9 月 15 日 30 日	孫育て講座	15 日にこりんく 30 日区役所	後日確認
11 月 3 日	30 周年イベント		
11 月 5 日	区民祭り		500
*12 月 10 日	ふれあいコンサート		400?
	すくすく		
	ぬくもり(桂台 CP)		
	ボランティア分科会		
*12 月 8 日	子育て支援団体連絡会		30 部?
*12 月 10 日	小菅ヶ谷こども会でお楽しみ会 こども会メンバー+協力者	(北野さん)	20 部?
*12 月 11 日	本郷第 3 地区子育て分科会行事 レッツスポーツ	(北野さん)	60 部?

*これからのもの

・区民まつりではセーフティコミュニティのブースで行ったが、大きな混乱なく 30 分くらいで配布終了。意味合いも伝えながら渡すと、よく聞いてくれた。

・12 月の改選後、新しくなった民生委員・主任児童委員には来年の 11 月の虐待防止月間前の 10 月に周知するのがよいのではないかと。(すぐに言われてもわからない)

3 アンケートについて（別紙 資料2参照）

1～2月実施の乳幼児健診受診者に実施する。

1月の健診の案内の郵送分には同封済み。

にこりんくでは12月からスタートする。現在配布されている100部を目標にひろばで声をかけていく。

*集計の仕方をどうするか？➡区で

4 今後の活動について

西区「赤ちゃん教室」見学報告 宮崎さんから報告

- ・胎児の月齢に合わせた人形がわかりやすかった。
- ・生徒全員が沐浴、妊婦体験を行っており、丁寧な取り組みだと思った。
- ・学校主体で家庭科の授業に組み込んでいる。何かの授業に取り込んでもらえるとよい。

今後、3月3日 勝島さん、白水さん

3月6日 北野さん、高橋さん、青さん

が見学希望➡西区に確認

☆来年度の取り組み（企画案 検討）

西本郷中学校に来年度、何らかの授業に取り込んでもらえないか打診する予定。

企画案を持って12月中旬に学校に依頼に行く。

依頼時は、地区の主任児童委員か宮崎さんと一緒に行ったほうがよいので笠間地区の主児さんと日程調整を行うようにする。

たとえば・主任児童委員定例会 12月19日午前中

・民児協 12月15日 夕方

・または、笠間地区のぴよぴよランチの後とか？

*今年度だけで終わりにならず継続できるように、また、他の中学校に広げるためにも講座の様子を記録してよいかの確認もする。積極的でない学校があれば、どんなものを学校とやりたいのかわかってもらうために、ビデオ？写真？を記録用にとっておいて納得してもらうための材料にするために、撮ってよいかお願いしてみる。

（個人が特定されないような配慮をしたうえで）

5 その他

虐待防止連絡会のチラシを主児さんの定例会で配布お願い。

6 次回事務局

1月24日（火）15：30～

平成 28 年度 第 5 回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業 議事録

平成 28 年 1 月 24 日 15:30 から(201)

- 1 前回事務局打ち合わせの確認
議事録確認行う

- 2 活動報告

28 年度 啓発活動計画(予定)

日時	内容	場所	配布数
6 月 11 日	KYT 研修(スタッフ 20 人)		
6 月 27 日	児童虐待防止連絡会	区役所	39
8 月 17 日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラ	33
8 月 19 日	赤ちゃんふれあい体験(小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラ	21
9 月 3 日	ステーション祭り		450
9 月 15 日、30 日	孫育て講座		50
11 月 3 日	30 周年イベント		
11 月 5 日	区民祭り		500
11 月 7 日～11 日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	25
12 月 8 日	第 3 回子育て支援連絡会	にこりんく	30
12 月 10 日	ふれあいコンサート		422
12 月 10 日	鍛冶ヶ谷子ども会		10
12 月 11 日	メダルでGO	本郷第 3	70
1 月 15 日	笠間地区児童虐待防止連絡会	笠間ケアプラ	53

今後*2月13日の虐待関連の研修会でも配布する

***3月10日鍛冶ヶ谷のこども会で未就学児の親子20組のイベントで配布可能**

3 アンケートについて

1～2月実施

区の乳幼児健診からの物：1月分回収中（現在102枚回収）

にこりんく：98枚回収

にこりんくと区の取ったものを分けて集計する

➡どのようにまとめていくか・・・現在は結果を入力中。まとめ方は講師に相談する

●自由記載欄への記入が多い。日常の中での自然な声掛けが母親たちは嬉しく思っていることがみえる。

<まとめた結果を地域やお母さんたちにどう返していくか？>

◆広報に載せる・・・セーフコミュニティの記事として

◆区のHP（にこりんくにも飛ぶように）

◆タウンニュース

◆7地区の地域福祉保健計画の広報部会に載せてもらう？

4 今後の活動について

西区「赤ちゃん教室」見学予定

3月3日（金）勝島さん・白水さん・佐藤

3月6日（月）青さん・北野さん・高橋さん

*集合場所や時間などの詳細は後日連絡します

5 来年度の取り組み

① 西本郷中学校との打ち合わせ報告

12月に西本中に打ち合わせに行った結果、29年度9月、家庭科の授業に組み込んでいく方向で検討してもらえることになった。3年生対象。

学校では2月に次年度の年間計画が出るとの事だったので、現在は連絡まち。

実施した後に、他の中学校に結果報告できるように(次の実施校として関心を持ってもらえるように)、開催時の様子をプログラムや写真を付けたチラシを作成し、校長会で報告したり、主任児童委員が学校訪問する時にチラシを持参して持っていけるようにするとよいのではないかと。

次年度は1校だが、ひろげて行けるように終了後に校長会で結果報告をして次年度の希望を募るか。周知して30年度は3校？目標。

4月～5月:主任児童委員の学校訪問で、今年度西本中でやるという事を知らせておいてもらう➡実施後、チラシを持って報告してもらう➡校長会でも報告し次年度の希望校を募る

① 育児教室での赤ちゃんふれあい体験

・全中学へ周知

・8月育児教室全会場（7か所）・・・参加しやすい学校を選んで参加しやすくする

② 民生児童委員会向けPR（案）

- ・主任児童委員 定例会への参加

ハンドブック配布、3点セット配布ししかえっ子の笑顔ひろげ隊説明

↓

2月は保育園園長先生と懇談予定あり。

★3月21日(火)10:00～新館1階

時間の初めの頃に保健師の挨拶を兼ねて資料配布。

終了後、希望者はにこりんくに見学に行く。新しい主児さんは4名+α

★民生委員さんには11月の虐待予防月間に向けて、10月にオレンジリボンとひろげ隊の緑の紙を配布したほうがよい。

- ・各地区民児協 定例会への参加（地区担当保健師中心で）

ハンドブック配布、3点セット配布ししかえっ子の笑顔ひろげ隊説明

5 その他

- ・来年度 事務局体制確認

主任児童委員さんはメンバー変更なし。宮崎さんと北野さん継続してくれます。

区社協の方の参加しやすい日程を組めるようにする。

6 次回事務局

3月末

3月29日(水)15:30～

区役所新館201号

第6回 さかえっ子の笑顔ひろげ隊事業 議事録

- 1 議事録確
- 2 28年度 啓発活動計画の結果について

日時	内容	場所	配布数
6月11日	KYT研修(スタッフ20人)		
6月27日	児童虐待防止連絡会	区役所	39
8月17日	赤ちゃんふれあい体験(笠間)	笠間ケアプラザ	33
8月19日	赤ちゃんふれあい体験 (小菅ヶ谷)	小菅ヶ谷ケアプラザ	21
9月3日	ステーション祭り	次世代交流 ステーション	450
9月15日、30日	孫育て講座	15日：区役所 30日：にこりんく	50
11月5日	区民祭り	本郷中学校	500
11月7日～11日	児童虐待防止月間啓発展示	区役所	25
12月8日	第3回子育て支援団体連絡会	にこりんく	30
12月10日	にこりんく虹のふれあいコンサート	栄公会堂	422
12月10日	第6回 鍛冶ヶ谷子ども会	鍛冶ヶ谷集会所	10
12月11日	メダルでGO	本郷第3	70
1月15日	笠間地区児童虐待防止連絡会	笠間ケアプラザ	53

3 アンケートについて

- ・乳幼児健診で依頼している分については追加でもってきてくれる人もいたため、3月で締めて集計する予定。
- ・にこりんく分は98枚回収で終了。

4 西区「赤ちゃん教室」見学報告

軽井沢中学校3年生 4クラスを3月3日(金)、3月6日(月)の2回に分けて実施。

内容は前回見学したものと同じで実技は沐浴、妊婦体験を行い、その他、保健師・助産師が、生まれてくることの奇跡や、大切に育てられて今があること、自分も友達も大切にすること、妊娠すること・親になること(時期や自分の状況等)を今後、きちんと考えていけるように話をしていたのが印象的であった。また、話しているテーマが何なのかわかるように、カードで「保健師の話」「助産師の話」など示しながら説明していたのもわかりやすかった。

5 次年度の取り組み

西本郷中学校 校長先生が交代するようなので新年度に、再度ふれあい体験の趣旨説明と前年度依頼

したことの確認に行く。主任児童委員さんと一緒に行かせてもらう。

当初は9月に予定していたが、その後3月がやりやすいという話を主任児童委員さんが前校長から聞いているため時期についても確認する。

29年度は1校だが実施が3月なので、実施した結果をもつての説明はできないため、29年度の動きを伝えつつ、30年度の実施を見こして各学校に赤ちゃんふれあい体験について説明し、30年度の希望校を募っていくようにする。

- ・笠間地区の主任児童委員と地区担当PHN、ひろげ隊担当で西本郷中学校へ挨拶。
- ・校長会で説明(6月)
- ・主任児童委員(宮崎さん、北野さん)担当地区の中学校に29年度に西本郷中学校で行うことを説明。次年度の投げかけしていく。30年度は+1校?増えればよいか。

② 夏休みの育児教室での赤ちゃんふれあい体験。

夏休み、7月・8月実施分の育児教室を全中学校に周知して行う。

校長会で依頼・説明。

③民生児童委員向けPR

- ・各地区民児協に地区担当保健師を中心に定例会に参加して、3点セットを配りながら、えがおひろげ隊の周知にいきたい。

↓

まず、区の民児協でインフォメーション。

各地区に向けては6月～7月か

*その時にアンケートのまとめも持っていきたい。

6 その他

☆笑顔広げ隊の活動って何ですか?と聞かれたときにわかりやすく説明するために、具体的な活動を入れてある媒体(チラシ)があると説明しやすい。

赤ちゃんふれあい体験等の写真入で、活動紹介のようなものがあるとよい→作成へ

☆29年度は虐待防止対策委員会30年プレゼンの年にあたる。

- ・11月の虐待予防月間の啓発は、今年度同様セーフコミュニティブースで行うことを希望していく。
- ・12月のにこりんくのふれあいコンサートは公会堂のホワイエを押しえられたら、それぞれの団体の活動を周知するパネルなどが置けるとよいと考えている。

次回事務局会議

日程は5月

平成 28 年度 第 1 回 高齢者安全対策分科会 議事録

開催日：平成 28 年 10 月 12 日（水）14 時 00 分～16 時 00 分

場 所：栄区役所 201 会議室

出席者（50 音順）：

浅間 飯島 加藤 小山 今野 篠原 関 須山 竹谷 田崎 田中
谷 富永 長瀬 野中 福田 前川 本田 山本 湯瀬（敬称略）

事務局：守田、柏田、村林、小川、明石、足立原、赤城

1 挨拶および自己紹介

2 報告案件

(1) セーフコミュニティおよび本分科会についての説明

(2) 昨年度の活動報告

- ・分科会 2 回開催（6 月 26 日、2 月 19 日）
- ・転倒転落防止活動（元気づくりステーション等）
- ・高齢者虐待防止（見守り推進事業講演会等）
- ・ヒートショック対策（講演会、区民まつり出展等）
- ・セーフコミュニティプロモーション（タウンニュース通信欄に掲載等）

3 議事案件

(1) 平成 28 年度取組予定

- ・分科会（10 月 12 日、3 月 15 日予定）
- ・元気づくりステーション（活動の中で転倒予防等の啓発）
- ・転倒予防体操（簡易に実施可能な転倒予防体操を開発）
- ・住環境改善（消防局パンフレットの活用）
- ・ヒートショック対策（区民まつりでの啓発）

(2) 各地域・機関での啓発および活動報告までの流れについて

（分科会委員が各地域・機関で啓発活動を行い、所定の用紙にて事務局に活動報告を提出）

(3) 転倒予防体操実技

健康運動指導士 黒田講師による実技指導

4 グループワーク

- ・「地域に広げるためにできることは」（3 グループに分けて討議）

5 今後のスケジュールについて

平成 28 年度 第 2 回 高齢者安全対策分科会 議事録

開催日：平成 29 年 3 月 15 日（水）14 時 00 分～16 時 00 分

場 所：栄区役所 2 号会議室

出席者（50 音順）：

飯島 加藤 川島 小山 三富 今野 竹谷 田崎 田中 谷 富永
佐野 野中 本田 山本 湯瀬（敬称略）

事務局：守田、柏田、村林、小川、明石、足立原、赤城

1 新任委員の紹介

2 報告案件

（1）今年度の取組について

- ・分科会 2 回開催（10 月 12 日、3 月 15 日）
- ・コアメンバー会議（9 月 26 日、10 月 12 日、2 月 21 日）
- ・元気づくりステーション（今年度立ち上げ 1 か所、計 15 か所）
- ・転倒予防体操（簡易に実施可能な転倒予防体操を開発）
- ・住環境改善（消防局パンフレットの活用し周知）
- ・ヒートショック対策
（リーフレット配布、区民まつりでのアンケート実施）

（2）各分科会委員からの報告

- ・啓発活動についての意見・所感等
（区民まつりでの啓発の成果、ヒートショック対策の啓発方法等）

（3）傷害サーベイランス分科会からの意見報告

- ・傷害サーベイランス分科会議事要旨・助言の報告

3 議事案件

（1）評価指標の経過について

- ・重点課題 1 転倒予防について（新たな評価指標を設定）
- ・重点課題 2 ヒートショック対策について

（2）意見交換

「住環境整備の重要性の啓発推進について」
（出前講座の状況・アンケートの分析および意見交換）

（3）各地域・機関での啓発および活動報告までの流れについて

（分科会委員が各地域・機関で啓発活動を行い、所定の用紙にて事務局に活動報告を提出）

4 今後のスケジュールについて

平成 28 年度 第 1 回災害安全対策分科会																											
日 時	平成 28 年 10 月 25 日（火） 15：00～16：00																										
開催場所	栄区役所 本館 4 階 2 号会議室																										
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 再認証に向けた今後の進め方について 2 大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報発表に伴う対応について 3 栄区水害対策マニュアル策定及び即時避難勧告対象地域の更新について 4 地域防災拠点・地域における訓練実施状況 5 熊本地震被災地派遣報告について 6 栄区防災講演会の開催について 7 栄防災フェアの開催について 																										
議 事	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">1 再認証に向けた今後の進め方について</td> </tr> <tr> <td>長沼委員 (加藤委員 代理)</td> <td>港南台駅でもプロモーションを実施しているとのことだが、港南台駅は港南区では？</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>これまで投票所を開設した経緯もあるので港南台駅でも実施しています。</td> </tr> <tr> <td>坂本委員</td> <td>29 年度の事前審査とはどのようなものか。</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>スタッフによる各分科会への指摘・アドバイス等を受けます。</td> </tr> <tr> <td>石渡委員</td> <td>認証によるこれまでの効果について、分科会だけにとどまらず区民にも安心・安全を実感できるようになれると良い。</td> </tr> <tr> <td>土木</td> <td>土木では道路や街路樹など安全に気を配っている。</td> </tr> <tr> <td>消防</td> <td>風水害についてより連携を強めていきたい。</td> </tr> <tr> <td>飯島委員</td> <td>有事の際はすぐに対応できるよう訓練を重ねている。 地域福祉計画策定の取組を進めている。</td> </tr> <tr> <td>武田委員</td> <td>若い世代に知ってもらい機会が少なく、認知度が低いのが課題。 駅など若者が集まる場所で効果的に PR をやれたら良い。</td> </tr> <tr> <td>石山委員</td> <td>SC の中で災害対策が浸透しておらず、PR が上手くいっていないと感じる。一般の人に広められなければ成功とはいえないのでは。</td> </tr> <tr> <td>磯崎座長</td> <td>認知度を上げるのはなかなか難しい。 また、防災訓練が SC につながっていることを理解してもらうのも難しい。</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>今年の選挙では「18 歳以上投票可」のチラシ裏面に SC の PR を掲載しました。その他にも認知度向上に向け検討していきたいと思います。</td> </tr> </table>	1 再認証に向けた今後の進め方について		長沼委員 (加藤委員 代理)	港南台駅でもプロモーションを実施しているとのことだが、港南台駅は港南区では？	事務局	これまで投票所を開設した経緯もあるので港南台駅でも実施しています。	坂本委員	29 年度の事前審査とはどのようなものか。	事務局	スタッフによる各分科会への指摘・アドバイス等を受けます。	石渡委員	認証によるこれまでの効果について、分科会だけにとどまらず区民にも安心・安全を実感できるようになれると良い。	土木	土木では道路や街路樹など安全に気を配っている。	消防	風水害についてより連携を強めていきたい。	飯島委員	有事の際はすぐに対応できるよう訓練を重ねている。 地域福祉計画策定の取組を進めている。	武田委員	若い世代に知ってもらい機会が少なく、認知度が低いのが課題。 駅など若者が集まる場所で効果的に PR をやれたら良い。	石山委員	SC の中で災害対策が浸透しておらず、PR が上手くいっていないと感じる。一般の人に広められなければ成功とはいえないのでは。	磯崎座長	認知度を上げるのはなかなか難しい。 また、防災訓練が SC につながっていることを理解してもらうのも難しい。	事務局	今年の選挙では「18 歳以上投票可」のチラシ裏面に SC の PR を掲載しました。その他にも認知度向上に向け検討していきたいと思います。
1 再認証に向けた今後の進め方について																											
長沼委員 (加藤委員 代理)	港南台駅でもプロモーションを実施しているとのことだが、港南台駅は港南区では？																										
事務局	これまで投票所を開設した経緯もあるので港南台駅でも実施しています。																										
坂本委員	29 年度の事前審査とはどのようなものか。																										
事務局	スタッフによる各分科会への指摘・アドバイス等を受けます。																										
石渡委員	認証によるこれまでの効果について、分科会だけにとどまらず区民にも安心・安全を実感できるようになれると良い。																										
土木	土木では道路や街路樹など安全に気を配っている。																										
消防	風水害についてより連携を強めていきたい。																										
飯島委員	有事の際はすぐに対応できるよう訓練を重ねている。 地域福祉計画策定の取組を進めている。																										
武田委員	若い世代に知ってもらい機会が少なく、認知度が低いのが課題。 駅など若者が集まる場所で効果的に PR をやれたら良い。																										
石山委員	SC の中で災害対策が浸透しておらず、PR が上手くいっていないと感じる。一般の人に広められなければ成功とはいえないのでは。																										
磯崎座長	認知度を上げるのはなかなか難しい。 また、防災訓練が SC につながっていることを理解してもらうのも難しい。																										
事務局	今年の選挙では「18 歳以上投票可」のチラシ裏面に SC の PR を掲載しました。その他にも認知度向上に向け検討していきたいと思います。																										

2 大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報発表に伴う対応について	
小石委員	柏尾川の近くでは大雨の注意を促すアラームが鳴るがあれは何か。ああいったものの活用の幅を広げていきたい。
事務局	当該アラームは国が設置した J アラートであり、国が運用しています。それ以外の方法による注意喚起を今後検討していきたいと考えています。
磯崎座長	何の情報でもまず流すこと、それが大事だと思う。先日起きた火災もそうだが、情報があって区民も気を付けようと思う。
石渡委員	区内の過去の被害についてだが、崖崩れやいたち川のいっ水が過去にはあったが再発防止はどのように行っているか。
事務局	50mm/h の雨でも耐えられるように区役所近くの学校橋の工事を行ったり、笠間地区の下水管工事を進めたりすることで再発防止に努めています。
石山委員	笠間地区は頻繁に浸水が起こるが、不動産の業者はその説明もなく家を売っている。何か防止策はないか。
事務局	転入者を対象にハザードマップを配るなどして対応しています。
3 栄区水害対策マニュアル策定及び即時避難勧告対象地域の更新について	
4 地域防災拠点・地域における訓練実施状況	
石山委員	地域防災拠点について、もっと他にもやりたい訓練があるが、参加者はなかなか覚えてくれないので、どうしても繰り返しになってしまう。そういった事情も知ってほしい。
長沼委員 (加藤委員代理)	繰り返すことは訓練において重要なことだと思う。地域の方には、拠点の訓練だけでなく自治会単位の小規模なものにも参加してほしい。
小石委員	高齢者や要援護者など、避難者ごとに分けて各教室を解放するといった手法を過去に行ったが好評だった。
磯崎座長	これまでの意見を踏まえ学校側の意見もお願いしたい。
石渡委員	本郷中は訓練日がテスト直前と重なってしまうなど、そういった点も含め地域との連携の難しさを感じた。
坂本委員	区割りが複雑にまたがっているため拠点訓練の運営の難しさを感じる。区割りについて線引きの見直しが必要では？
磯崎座長	企業側からの意見もぜひお願いしたい。
武田委員	訓練のための訓練はやめようというスタンスをとっている。消防のシナリオと自分たちのシナリオにずれが生じることもあ

	るが、検討を重ね実施していきたい。
消防	訓練で失敗を重ねるのも良い経験・勉強になるので積極的に実施してほしい。
5 熊本地震被災地派遣報告について	
磯崎座長	実際に出向した職員の感想はどうか。
事務局	避難所については、主体性のある避難者がいるところでは上手く運営できています。しかし避難者がお客さんの状態となっているところではそうとも限りません。 熊本市ではもともと地震をあまり想定していなかったので、運営委員が自分たちで進めていったのか戸惑ってました。これを踏まえ熊本市では改善の方向に向け、検討を進めているとのことです。
6 栄区防災講演会の開催について	
7 栄防災フェアの開催について	
磯崎座長	全員のご意見をいただきありがとうございました。今後も PR を進めていきましょう。
全員	異議なし。

平成 28 年度 第 2 回災害安全対策分科会									
日 時	平成 29 年 2 月 14 日 (火) 15:00~16:00								
開催場所	栄区役所 本館 4 階 2 号会議室								
次 第	1 災害安全対策分科会の取組状況について 2 栄防災フェアの開催について 3 栄区防災マップ更新について								
議 事	1 災害安全対策分科会の取組状況について <table border="1" data-bbox="379 645 1375 1984"> <tbody> <tr> <td>毛利会長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 被災直後のまとまった避難や隣近所の助け合いが大事 「東京防災」を見たが、発災時のガラスの破片にも注意、といったような自助啓発も必要かと 地域でそれぞれ訓練・取組をしているが、温度差があるのは事実である。 →参与を含めたディスカッションの場を設け、情報共有の場も必要ではないか？ →連絡協議会のようなセレモニーではなく、本音を話せる場も必要（磯崎会長） 拠点の炊飯器は役員が使えないところもあると聞く。 拠点訓練以外でも、イベント等で使えば、訓練にも繋がるのでどんどん使うべき。 </td> </tr> <tr> <td>三輪係長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> いざという時のための準備が必要だと感じる 地震が発生した時のため、土木事務所では道路状況を確認するような訓練も行っている。 停電時には注意しなければならない。BCP 訓練も必要 </td> </tr> <tr> <td>干場 予防課長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地震被害想定 of 区内 4 7 棟焼失は消防の観点からすれば大きな問題。 通常、1 棟の火災では 15 隊の消防隊が消火活動にあたる。 震災時は 1 棟 1 隊で対応する計画のため、延焼するかもしれない。 地域の方々にはスタンドパイプを購入したり、訓練したりしてほしい。初期消火は大切。 企業の方々にも協力をいただいている。こういう動きが広がれば良い。 </td> </tr> <tr> <td>岸副署長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 消防ではとにかく初動対応（72 時間）が重要となる。 拠点では長期生活を主眼に置いた、住民主体の訓練をしてもらいたい。 </td> </tr> </tbody> </table>	毛利会長	<ul style="list-style-type: none"> 被災直後のまとまった避難や隣近所の助け合いが大事 「東京防災」を見たが、発災時のガラスの破片にも注意、といったような自助啓発も必要かと 地域でそれぞれ訓練・取組をしているが、温度差があるのは事実である。 →参与を含めたディスカッションの場を設け、情報共有の場も必要ではないか？ →連絡協議会のようなセレモニーではなく、本音を話せる場も必要（磯崎会長） 拠点の炊飯器は役員が使えないところもあると聞く。 拠点訓練以外でも、イベント等で使えば、訓練にも繋がるのでどんどん使うべき。 	三輪係長	<ul style="list-style-type: none"> いざという時のための準備が必要だと感じる 地震が発生した時のため、土木事務所では道路状況を確認するような訓練も行っている。 停電時には注意しなければならない。BCP 訓練も必要 	干場 予防課長	<ul style="list-style-type: none"> 地震被害想定 of 区内 4 7 棟焼失は消防の観点からすれば大きな問題。 通常、1 棟の火災では 15 隊の消防隊が消火活動にあたる。 震災時は 1 棟 1 隊で対応する計画のため、延焼するかもしれない。 地域の方々にはスタンドパイプを購入したり、訓練したりしてほしい。初期消火は大切。 企業の方々にも協力をいただいている。こういう動きが広がれば良い。 	岸副署長	<ul style="list-style-type: none"> 消防ではとにかく初動対応（72 時間）が重要となる。 拠点では長期生活を主眼に置いた、住民主体の訓練をしてもらいたい。
毛利会長	<ul style="list-style-type: none"> 被災直後のまとまった避難や隣近所の助け合いが大事 「東京防災」を見たが、発災時のガラスの破片にも注意、といったような自助啓発も必要かと 地域でそれぞれ訓練・取組をしているが、温度差があるのは事実である。 →参与を含めたディスカッションの場を設け、情報共有の場も必要ではないか？ →連絡協議会のようなセレモニーではなく、本音を話せる場も必要（磯崎会長） 拠点の炊飯器は役員が使えないところもあると聞く。 拠点訓練以外でも、イベント等で使えば、訓練にも繋がるのでどんどん使うべき。 								
三輪係長	<ul style="list-style-type: none"> いざという時のための準備が必要だと感じる 地震が発生した時のため、土木事務所では道路状況を確認するような訓練も行っている。 停電時には注意しなければならない。BCP 訓練も必要 								
干場 予防課長	<ul style="list-style-type: none"> 地震被害想定 of 区内 4 7 棟焼失は消防の観点からすれば大きな問題。 通常、1 棟の火災では 15 隊の消防隊が消火活動にあたる。 震災時は 1 棟 1 隊で対応する計画のため、延焼するかもしれない。 地域の方々にはスタンドパイプを購入したり、訓練したりしてほしい。初期消火は大切。 企業の方々にも協力をいただいている。こういう動きが広がれば良い。 								
岸副署長	<ul style="list-style-type: none"> 消防ではとにかく初動対応（72 時間）が重要となる。 拠点では長期生活を主眼に置いた、住民主体の訓練をしてもらいたい。 								

	<ul style="list-style-type: none"> ・また、救助等（？）の受入れ体制についても、力を入れてほしい。⇒災害時の要援護者の対応はどうすればよいか？（磯崎会長）→様々な障害があるので一括りにはできない。難しい問題だ。
小石副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・長沼町では支えあいカードを作成している。 ・防災センターで地震体験をしたが、震度6以上からの被害が大きい映像だった。あんな揺れの中で、現実問題として動けるか心配だ。 ・防災センターに行って、体験した方が良い。
武田さん (住友電工)	<ul style="list-style-type: none"> ・千秀小拠点で AED 訓練の支援をしている。町のどこに AED があるのか知りたいし、皆に知ってほしい。 ・避難所では、食事やトイレ掃除等スタッフに回る意識が必要 ・住友電工では年2回、防災訓練をしている。防災訓練を継続していくことが重要。
加藤副団長	<ul style="list-style-type: none"> ・避難者が自ら運営していく必要がある。消防団は発災時は避難所にはいけない。 ・資機材取扱訓練を拠点でやるのはいいが、教えた後は地域の人たちが教える側になってほしい。 ・地震はいつおこるかかわからず、団員も動員できるかわからないということを地域に知ってほしい。 ・団員の充足率は80%位という状況である。
石渡 校長先生	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点の運営だけでも大変なのに、地域避難所（65か所）は本当に運営できるのか？ ・発災時は、中学生にも地域避難所に行ってもらいたいぐらいなので、運用をきちんとした方が良い。 ・中学生も活躍できる、ということを知ってもらう必要がある。（役割を与えると一生懸命になる）
坂本 校長先生	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備蓄庫の管理がバラバラなのではないか？（運営委員、町内会） ・防災備蓄庫にソーラーライトをつければ、夜中でも安心できるのでは？（金沢区取組） →補助金でやっては？（磯崎会長、総務課長） ・拠点の区域が学区と全然違うので、学区と合わせるよう線引きしてほしい。 →教育委員会に確認したところ、無理そう。発災時は柔軟な

		<p>対応が求められると思う（総務課長）</p> <p>→豊田小は戸塚に隣接しているため、戸塚の住民が避難することを想定している（毛利会長）</p>
	飯島 事務局長	<p>・サロンの人にも防災意識をもってもらおうよう取り組んでいる。</p>
	2 栄防災フェアの開催について	
	3 栄区防災マップ更新について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄庫が狭い（毛利会長） ・要援護者用教室の設置はじめ、次のステップである要援護者支援にも力を入れていく必要がある。（副区長） ・千秀小の地域防災拠点訓練に田谷の里のスタッフが参加した。 このような施との連携した訓練を更に増やしていくべき。（連携協定を結んでいる） <p>→災害時に初めて連携するのではなく、日ごろから連携を（磯崎会長、副区長、毛利会長、小石副会長）</p>	

平成 28 年度栄区セーフコミュニティ 第 1 回自殺予防対策分科会 議事要旨

日時：平成 28 年 9 月 2 日(金)10 時 00 分～11 時 00 分

場所：栄区役所新館 3 階 研究室

出席者委員 芦川委員・牛尾委員・臼井委員・小田原委員・川島委員・須山委員・田中孝秀委員・三善委員代理小山係長

欠席委員 江口委員・田中伸一委員・二宮委員

出席オブザーバー 吉田氏・新海氏・山上氏・岩田氏

事務局 近藤（福祉保健センター長）・前田（福祉保健センター担当部長）

小泉（福祉保健課長）・守田（高齢・障害支援課長）・中村（生活支援課長）・

望月（事業企画担当係長）・椎名（障害者支援担当係長）・柏田（高齢者支援担当係長）・高橋（区政推進課企画調整係長）・担当職員 3 名

1 開会	
	異動による新委員紹介 あいさつ
2 報告 （1）平成 27 年度の自殺予防対策取組実績 （資料 1）	
	<ul style="list-style-type: none">・研修の受講前後で大きく変わるわけではないが、対応の仕方について改めて考える機会になっている。・メンタルヘルス支援ネットワークも、元より連携はしているが、より深めることにより何かの時に役立つものになると思う。・もし、「死にたい」という電話を受けたとしたら、どこまで踏み込むのか難しい。匿名の場合、追いかけていけない。相手から電話を切ったときに、言い切って電話を切られたのかの見極めが難しい。・「死にたい」の相談へ対応できるように研修を受けていても、実際に相談があると困るだろうと思う。少しでも「取り組んでいこう」と学び合えるとよい。・事例検討などは実践のイメージももちやすいということか。・そう思う。また、実際に亡くなった方の事例も出ているので、職員のケアも大切だと考えている。・確かに専門職員の心のケアも大切。
3 議題 （1）平成 28 年度の自殺予防対策の取組について （資料 2）	
	<ul style="list-style-type: none">・「生活困窮者に関するネットワーク会議」（P 3）は家計相談事業者も入っているが、どういう会議で、性格のものなのか。・平成 27 年度から始まった生活困窮者自立支援制度を進めていくための会議・生活困窮者を発見する、支援するために関係機関が集まって検討しており、その中に専門業者に委託しているのが家計相談支援事業者
3 （2）平成 28 年度第 1 回傷害サーベイランス分科会について	
	ア 平成 27 年度傷害サーベイランス分科会で作された意見について （資料 3）

	意見なし
<p>3 (2) 平成 28 年度第 1 回傷害サーベイランス分科会について イ 傷害サーベイランス分科会資料案について (資料 4)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・指標については、後日でよいので、意見あれば事務局へ ・民生委員の中で、自殺願望、傾向がある方に対応しているということをあまり聞かない。 ・願望のある方に関する情報を、ハートフルサポーターなどに直接提供することや、対応をお願いすることはあるか。 ・地域に住んでいて、いろいろな情報を持っているが、民生委員とのやりとりはあまりない。気になる家の前を何となく通り、何となく声をかけるようにしている。それが予防だと思う。民生委員は役職として受けているため、お宅を訪問しているなどの情報が出せない。予防というのは事前にするのが予防なのだから、何とかならないか。 ・個人情報の共有をどういう風にしていくのかは確かに重要な問題 ・それを取り組みの中に盛り込む内容かどうか含めて、事務局で検討してほしい。 ・予防的な視点では、ある程度の情報提供、共有が欠かせないのはもったもだが、できる範囲とできない範囲があるのも事実。 ・ただの個人情報の話ではなく、既存の資源や組織、民生委員や町内会などの活用を通して、新しい取り組みができるかどうか、する必要があると思う ・今出ている自殺死亡者数の後ろには幸い命は取り留めた、とい方がもっている。 ・「広く一般」、「一般より少し知識を持った身近な方 (ハートフルサポーター)」、「深刻な状態にあるハイリスク者」へのアプローチと重層的に考えている。
<p>3 (3) ハイリスク者支援策検討部会 (仮称) の立ち上げについて (資料 5)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・検討部会の立ち上げについては承認いただけるか? →意見なし 承認 ・案をだして、みなさまにもんでいただくとことを考えているので、よろしく願いしたい。
<p>4 情報共有</p>	
	<p>こころの健康相談センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市でのキャンペーン実施 9/9 (金) 横浜駅にて 鉄道会社各社、市、県ネットワーク会議の団体の協力で 8,000 個 ・講演会 「依存症のサインに気づく」 10/4 (火) 鶴見公会堂 <p>健康福祉局障害企画課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に基本法の一部改正が行われた。市町村計画の策定が定められたことが大きい。ガイドラインを厚生労働省で検討しているところで、来年には出てくると見込んで

平成 28 年度栄区セーフコミュニティ
第 1 回自殺予防対策分科会 議事要旨

	いる。
5	その他
	・もう少し、資料の文字は大きくしてほしい
閉会	

平成 28 年度栄区セーフコミュニティ 第 2 回自殺予防対策分科会 議事要旨

日時：平成 29 年 3 月 2 日(木)13 時 30 分～15 時 00 分

場所：栄区役所新館 3 階 研究室

出席者委員 臼井委員・江口委員・小田原委員・川島委員・庄司委員・須山委員・田中伸一委員・田中孝秀委員・二宮委員・本田委員

欠席委員 牛尾委員・三善委員

出席オブザーバー 土井原氏・吉田氏・新海氏・山上氏

事務局 近藤（福祉保健センター長）

小泉（福祉保健課長）・守田（高齢・障害支援課長）・中村（生活支援課長）・

望月（事業企画担当係長）・椎名（障害者支援担当係長）

担当職員 4 名

1 開会	
	<ul style="list-style-type: none">・委員、オブザーバーの自己紹介・福祉保健センター長 あいさつ H30 年度は再認証、H29 年度は事前審査を受ける年であり、これまでの取組を報告する年。引き続きご協力賜りたい。・ピンバッジ配布と説明
2 (1) 平成 27 年の自殺者の状況について (資料 1)	
	<ul style="list-style-type: none">・自殺死亡者の手段は首つりが多く、未遂は薬物が多い。自殺企図した場合、死に至る可能性が高いのは首つりということか？データ上はそう読める。・地域を見ていると、無職で困っている方も多い。・無職と生活困窮がイコールかわからないが、そのあたりもハイリスク者として介入していくことも含めて今後、考えていけるとよい。・研修などで、いろいろな要因が自殺に結びつくと聞いている。生活困窮など、生活上での悩みが自殺に結びつく可能性があるかと認識している。
2 (2) 「栄区セーフコミュニティアンケート」の実施について (資料 2)	
	<ul style="list-style-type: none">・無記名なので、連結は不可能。結果が出たら、報告してほしい。・事務局は、今後このアンケートやデータをどのように活用したいと思っているか。・啓発活動の効果測定としてみていきたい。「自殺をしたいと思った理由、思いとどまった理由」について聞いているが、その結果をリスクが高い方への働きかけに役立てていきたい。
2 (3) 「こころの健康に関する市民意識調査」の結果について (資料 3)	
	<ul style="list-style-type: none">・区ごとの分析は数が少ないので、傾向が見えないので全市で集計している。・日本財団いのちを支える自殺対策プロジェクトが行ったインターネットでの調査「日本財団自殺意識調査 2016」では、「人に相談した」が低くなっているが、横浜市では高い。

	<ul style="list-style-type: none"> ・設問は 5 年前の調査と同じか？ ・タイトルを「自殺に関する市民意識調査」から「こころの健康に関する市民意識調査」に変更し、ストレスについても設問を設け、自殺に向かう前のことも聞いた。 ・抽出を工夫し、年齢構成など横浜市の人口比に合わせた。 ・思いとどまった理由は前回より「人に相談して思いとどまった」がやや下がっているが、2 割以上なので、“相談”という手法は有効だと考える。 ・市の自殺対策基本計画策定にあたり、結果を内容に反映させていきたい。 ・20 歳代の結果で特徴的なことがあれば、教えてほしい。 ・「人に聞いてほしい」と思う方の割合が若い方が多くなっている。 ・相談という働きかけが重要ではあるが、働きかけやアプローチではどんなことが大事なのか。 ・若者の感覚としては、相談したら自分にメリットがある、と確信しないと、相談につながらない。いかに相談先に結びつくか、というアプローチに重点を置いて考えている。 ・アプローチはふたつ考えている。ひとつは SNS、インターネットからのアプローチ。もうひとつは、学齢期から成人にいたるところのサービスの切れ目へのアプローチ
<p>3 (1) 平成 28 年度第 2 回傷害サーベイランス分科会 (2 月 2 日) について (資料 4)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、新機軸として自殺ハイリスク者支援検討部会を立ち上げた。この検討部会の内容についての説明はのちほど詳しくある。
<p>3 (2) 平成 28 年度の取り組みと課題について ア 啓発活動 (資料 5) イ ハイリスク者支援対策検討部会 (資料 6)</p>	
	<p>ア 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動を初めて大船駅で行うのは、本郷台駅だけではない、広い住民の方に PR したいということが目的か。 ・配布できる方に偏りがあるということが課題だった。大船駅で、鎌倉・逗子・葉山の団体が啓発活動をするということを知り、話をもちかけた。場所、時間帯が違うため、利用されるお客さんも違い、新たな啓発活動ができると考えている。 <p>イ ハイリスク者支援対策検討部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定義では自殺未遂をされた方がハイリスク者となっているが、共済病院では、自殺未遂をされた方が搬送されてきた場合、具体的にどのようなことをしているのか？ ・今、現在は、特に何かしていることはないが、アプローチできるものを考えたい。 ・診療報酬で自殺企図者への介入は加算がつく。そういった形で人の配置をするなど病院は考えているか？ ・ハイリスク者対策を区として取り上げたわけだから、見守っていくような仕組みがないと何もやらないのと同じではないか。 ・病院の方針や予算もあり考え方もあるので、すぐに実現可能ということではない。診療報酬加算の確認なども行い、病院として対応できるのか、対応が難しければセーフコミュニティとして病院と連携して考えていくこともひとつのアイデアとして

	<p>あってもいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市大の保健管理センターではどのような形でハイリスク者に対応しているか？ ・診療報酬の話なので、病院ということになる。市大センター病院では、リエゾンチームがあり、自殺企図者には救命救急センターの時点で全件介入する。収益性といったことだけではなく、病院として、どういったことに力をいれていくかということになる。よく揉んでから決めることだと思う。 ・自殺企図者以外のハイリスク群、経済的困窮者などについても検討部会では話が出たと聞いている。また別のしかけを考え、平行して行っていいものだと思う。 ・イギリスではアウトリーチがしっかりしていると聞いている。イギリスにすぐに近づけるとするのは大変な問題なのかもしれないが、そこに着手していかないとある程度は減少しても、そこから先に限界があると思う。 ・地域包括ケアシステムができていく中で、まちで、地域で、サポートしていく、孤立させないという取組が、きちりと体制をつくっていくことで、自殺防止につながることを期待したい。 ・“自殺対策”は、いろいろなところに取り入れていければいいのかと感じている。母子、高齢、いろいろな分野でつながりや地域コミュニティが大切と言っていて、自殺対策とも共通の視点である。 ・生活支援課、高齢・障害、こども家庭、そういう各分野がお互いに連携をとりながら、区役所内でできることもある。 ・傷害サーベイランスでも、分科会ごとのセクショナリズムではなくて、関係している活動を有機的につなげるような視点、ということも指摘いただいた。 ・栄区ではハイリスク者を未遂者と定義して対応を考え始めたところ。病院だけが取り組むような形になりがちであるが、病院だけではない、ほかの各機関が連携してできるような仕組みをどうつくるか、ということから始める段階にある。
<p>4 (1) 平成 29 年度の自殺予防対策の取組について ア啓発活動 (資料 7)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「あらゆる見守りの機会をとらえて」というキーワードのとおり、もう少し広く見守ることで、予防につなげていくという視点。 ・大船駅の活動は SC としての活動だが、他の自治体と一緒にすることで、何か制約があったりするのかな。 ・特にはない。
<p>4 (1) 平成 29 年度の自殺予防対策の取組について イ人材育成・ハイリスク者対策 (資料 8)</p>	
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺念慮のあるような方が、相談にいらっしゃることは結構あるのかな。 ・リスクがある方なのかどうか、はっきりとはわからないが、何らか、そのような思いをもっていらっしゃる方はいると思う。 ・ハートフルサポーターというのは、誰になるのかな？ ・ハートフルサポーター研修で、自殺に傾いてる方について、どう対応したらいいかなど研修を実施しており、研修の受講者をハートフルサポーター

としている。具体的には区役所職員、民生委員や、保健活動推進員などが受講している。

- 資料 4 の 118 ページに、ハートフルサポーターの実績があるので参考に
見てほしい。
- 一方で、そういう研修を受けても、実際にどういう風に関わったらい
いのかわからない、活動したらいいのかわからない、という方も多
い。自殺企図をした方で立ち直られた方で、お話していただけるよ
うな方がいれば、そういう方のお話をきくような研修もいいのでは
ないか。
- 乗り越えてきた方を、社会に引っ張ってくる、ことが大切。
- 急に妻を亡くしたり、子どもが出て行って一人で生活している、両
親が亡くなった、病気になったなど相談をうけることが多い。おそ
らくそういった方たちは、ここ（区役所）に相談に来ていないと思
う。地域のことはわかるので、できることがあると思う。

閉会

平成 28 年度 第 1 回 防犯対策分科会会議録

日 時	平成 29 年 2 月 16 日 (木) 午後 1 時 30 分から
開催場所	栄区役所新館 4 階 7 号会議室
出席者	保坂、臼井、岡田、越替、竹谷、折田 (敬称略) 事務局：早乙女、吉田、江川
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 28 年度第 2 回傷害サーベイランス分科会について <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、サーベイランス分科会の概要について報告があった。 2 各団体における取組の報告について <ul style="list-style-type: none"> ・ 各構成団体における平成 28 年度の取組について報告があった。 毎月 10 日・月末・イベント開催時における防犯パトロール、年金支給日における金融機関前での注意喚起、街頭キャンペーンによる啓発活動、大型団地・マンションへの啓発チラシのポスティング、見守りサポーターの養成、地域ケアプラザ・サロンなどにおける出前講座 ・ 事務局からは、広報よこはまによる広報、キャンペーンによる啓発、栄区情報配信サービスによる情報提供、防犯灯の設置 (鋼管ポール型防犯灯の ESCO 事業による LED 化)、防犯グッズ貸与による地域活動の支援について報告があった。 3 平成 29 年度に向けた取組について <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り込め詐欺は平成 25 年以降、被害件数・被害額ともに高い数値で推移している。(平成 28 年は件数こそ微減だったものの、被害額が 1 億円近かった。)平成 29 年度も引き続き重点課題として被害件数・被害金額の減少に取り組みたい旨事務局より説明があり、了承された。また、電話近くに貼付して振り込め詐欺の注意喚起を図る啓発シールを作成したので、各団体の啓発でも利用してもらいたい旨事務局より説明があった。 ・ 区内の刑法犯認知件数のうち 36%を占める乗り物盗についても、今後分科会において対策を検討する。 ・ 振り込め詐欺や乗り物盗について、被害者層の分析を行うことで、効果的な啓発活動などの工夫などができるのではないかと意見があった。今回、不在であった栄警察署にも協力を依頼し、今後検討する。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 28 年度第 2 回傷害サーベイランス分科会資料の抜粋 2 平成 28 年度防犯対策分科会事務局 (地域振興課) における取組 3 町別の街頭犯罪等認知件数 (平成 27・28 年)